

10. 主な意見・要望【自由記述】

(1) 就労者

- コロナにかかって思ったことですが、テレワークができたらいいかなと思いました。
- 近年はコロナの影響により、臨時休業や子どもが感染者や濃厚接触者に該当し、仕事を休まざるをえない状況が多々あったがなんの補償もなく収入が減りとでもきつかった。何か少しでも支援があるといいと思った。
- 雇用の促進はもちろんですが、長く安定して働けるためには、給料の底上げが不可欠です。
- 育休も取らせていただいているが、人手がなかなか増えないことから現場の同僚に申し訳なきを感じる。男性も女性も子育てしながら働きやすい社会になってほしいと思う。
- 働き方改革を熱心に進めている会社だが、掛け声と実態がかけ離れている。決定的に人が足りないが募集しても応募なし。消耗していく社員。先が見えない。
- 63歳ですが、今後もできる限り長く働きたいと思っています。収入もですが、生活のリズムや生きがい、社会参加の意識としても働き続けたいと思っています。
- 鹿児島の企業や経営者はITリテラシーが低く、そもそもテレワーク可能なIT産業（オフィスワーク）が少ないと思います。全国からWEBで仕事を受注できるような産業を育てないと、テレワークは難しいと思います。
- 保育士の働き方改善を求めます。同僚の身体や心が病んでしまっているのが現状です。保育士は素晴らしい仕事ですが、長時間労働が常態化されています。
- 就労意欲があっても希望する職に就けない若い年代が多いと感じています。安価でスキルUPのための教育を受けられる制度やまたそれらを周知することが必要だと思います。
- 私の周囲では細やかな配慮をし、長時間働くのが仕事に責任感を持っているという仕事観がまだまだ根強い印象がある。
- 女性が結婚、出産、子育てを経ても、その能力を無理なく発揮できる社会であってほしい。また、男性（パートナー・夫）も育児、家事を担えるよう勤務時間（労働時間）の適正化及び賃金の確保等に環境を整備していただきたい。
- 年金生活になってからの就労のできる職場が身近に欲しい。健康であれば、これまでの人生経験を活かした仕事がますます健康の増進につながっていくと思う。
- 子供を自宅で1人にする時間を減らしたいが、年齢的に職種が限られる。時間を長くして扶養を外れてまで働くには賃金が安い。
- 政府が生涯現役と言う割には65歳を過ぎると極端に職を探すのが難しい。
- いろんな商品や光熱費など値上げが続き、生活に影響が出てくるので賃上げをしてほしい。

(2) 未就労者

- 次の仕事も声かかっていますが今コロナ感染者がすごく多く働こうか迷っています。
- 長く専業主婦をしていると、働くことに自信がなくなります。体力的にも能力的にもです。若い時から子育てしながら仕事できる環境を作ってあげてほしいと思います。在宅でワークや転勤せずにできるなど企業の働き方をもっと女性に優しい職場にしてあげてほしいです。
- 介護の方々ヘルパーさんにはとにかく頭が下がります。メディア等で、テレワークでリゾート地で楽しく仕事等若い人がとびつきそうな人生を楽しもう的な内容が多々見られますが、社会の中でどういう仕事が必要か何が大切か、夜も寝ないで他人の身体をやさしくいたわっている若い人々がやっていて良かったと思えるような就労支援を望みます。
- これから生き方の多様化に伴い、働き方のニーズも様々になると思います。いろいろな状況下で様々なツールを使った働き方、システム作り、またモデルの提案や紹介など情報発信を積極的にしていただけるとありがたいです。